平成25年度地方都市ガス事業 天然ガス化促進対策調査 (都市ガス安全情報広報事業(需要家等に対する広報))

結果報告書(抜粋)

平成26年 3月17日



【調査目的】

ガス需要家の都市ガスの安全に関する認識等を把握するため、ガス需要家に対するアンケート 調査を実施し、得られた調査結果の分析から、次年度以降の都市ガス安全情報の広報事業に 対する提案を行うことを目的とする。

【調査設計】

■調査方法: インターネット調査法

■調査地域: 全国の都市ガス供給都市

■調査対象とサンプル数: ①一般需要家

•20~69才の一般男女個人で都市ガス利用者

計1000s

※男女比率は前年度と同様に、男20:女80とする(年代構成も昨年に順ずる)

②業務用需要家

・下記の業態に属する店舗のオーナーおよびガス機器使用者計500s

※総合レストラン、ラーメン店、中華料理店、料理・飲食店、そば・うどん店、 惣菜・弁当店、菓子店、パン店、理容・美容院、クリーニング店のいずれか

	調査地域								
	北海道	東北	関東・ 甲信越	中部・東海・北陸	近畿	中国•四国	九州· 沖縄	合計	
一般需要家	100s	100s	200s	200s	200s	100s	100s	1000s	
業務用需要家	30s	23s	179s	76s	149s	19s	24s	500s	

■対象者収集方法: インターネット調査会社のモニターより有意抽出

【調査実施スケジュール】

2014年2月 3日 (月) ~2014年 2月 6日 (木)

【調査方法の変更点】

回収率向上等のため、業務用需要家に対する対象者収集方法及び調査方法を以下のように変更

【平成24年度まで】

対象者収集方法 : 機縁法(調査員ネットワーク)によりリクルート、電話・訪問による

協力依頼、条件確認を実施

調査方法 : 郵送調査法(自記入式アンケート)

【平成25年度】

対象者収集方法 : インターネット調査会社のモニターより有意抽出

調査方法 : インターネット調査法

【平成25年度調査の変更点】

平成24年度調査票より変更のあった点は以下の通り

【一般需要家調査】

- ①質問項目の順序入れ替え
 - ⇒平成24年度調査票で、質問項目の末尾に設置していた「保有ガス機器」「1ヶ月の平均ガス 料金」を冒頭に移動
- ②質問文・回答項目の変更
 - ⇒平成24年度の調査票から質問文・回答項目に変更点がある場合は※で記載
- ③追加設問
 - ⇒Q7, Q12, Q20, Q27-1, Q27-2

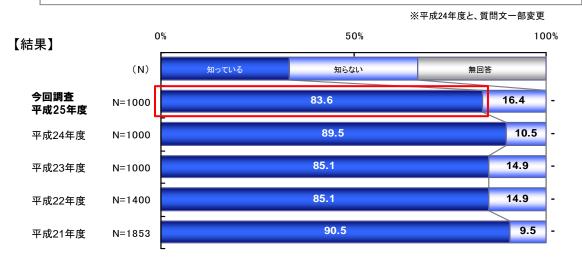
【業務用需要家調査】

- ①質問文・回答項目の変更
 - ⇒平成24年度の調査票から質問文・回答項目に変更点がある場合は※で記載
- ②追加設問
 - ⇒Q2

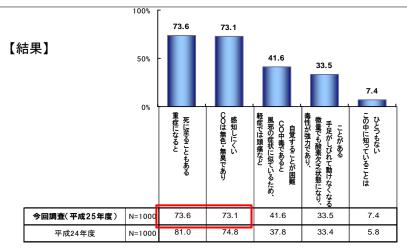
1. 一般需要家調査

換気をしない状態におけるガス機器の使用が、CO(一酸化炭素)中毒につながる可能性を認識しているのは8割強にも上り、同時に「死に至る」可能性や「無色・無臭」という特徴も認知されている。

- Q1 あなたは、室内でガスコンロ等のガス機器を使用する際、換気をしない状態でガス機器を使用すると、燃焼用の酸素が不足して ガス機器が不完全燃焼を起こし、CO(一酸化炭素)中毒になる恐れがあることを知っていますか。 あてはまるものを1つだけお選びください。 (1つだけ)
 - 1. 知っている
 - 2. 知らない



- Q2 CO中毒の危険性について、知っていることをお選びください。(いくつでも)
 - 1. COは無色・無臭であり感知しにくい
 - 2. 軽症では頭痛など風邪の症状に似ているため、CO中毒であると自覚することが困難
 - 3. 毒性が強力であり、微量でも酸素欠乏状態になり、手足がしびれて動けなくなることがある
 - 4. 重症になると死に至ることもある
 - 5. この中に知っていることはひとつもない



ガス機器使用の際の換気は、前回調査までの「小型湯沸器」に「ガスコンロ等」を加えた設問にすると、換気する率が上昇する。

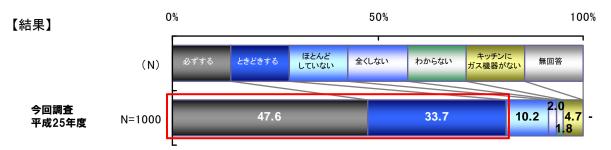
【全員にお伺いします】

Q3-1 あなたは、キッチンで小型湯沸器やガスコンロ等のガス機器を使用する際に、換気をしていますか。(1つだけ)

- 1. 必ずする
- 2. ときどきする
- 3. ほとんどしていない
- 4. 全くしない
- 5. わからない
- 6. キッチンにガス機器がない ※

---※平成24年度と、質問文、選択肢一部変更

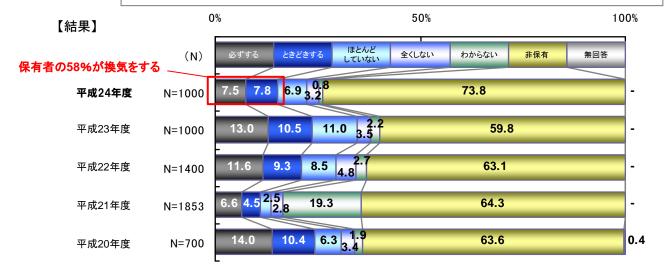




参考:過去 同様設問調査結果

【全員にお伺いします】 あなたは小型湯沸器を使用する際に、換気をしていますか。(1つだけ)

- 1. 必ずする
- 2. ときどきする
- 3. ほとんどしていない
- 4. 全くしない
- 5. わからない
- 6. 小型湯沸器を持っていない



)

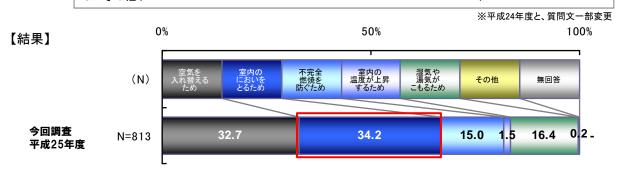
POINT

ガス機器使用の際の換気は、「小型湯沸器」に「ガスコンロ等」を加えた 設問にすると、「室内のにおいをとるため」が強く、不完全燃焼を防ぐ意識が 低いことがわかる。

【Q3-1で換気を「必ずする」、「ときどきする」とお答えの方にお伺いします】

Q3-2 あなたがキッチンで小型湯沸器やガスコンロ等のガス機器を使用する際に換気を行う理由を、 次の中から1つだけ選んでお答えください。(1**つだけ**)

- 1. 空気を入れ替えるため
- 2. 室内のにおいをとるため
- 3. 不完全燃焼を防ぐため
- 4. 室内の温度が上昇するため
- 5. 室内に湿気や湯気がこもるため
- 6. その他(



参考:過去 同様設問調査結果

【小型湯沸器を使用する際に、換気を「必ずする」「ときどきする」とお答えの方にお伺いします】

あなたが小型湯沸器を使用する際に換気を行う理由を、次の中から1つだけ選んでお答えください。(1つだけ)

- 1. 空気を入れ替えるため
- 2. 室内のにおいをとるため
- 3. 不完全燃焼を防ぐため
- 4. 室内の温度が上昇するため
- 5. 室内に湿気や湯気がこもるため
- 6. その他(



Siセンサー搭載ガスコンロ使用者は、ガスコンロ保有者全体の6割を超えている。 (全てのバーナーに搭載 + 一部のバーナーにのみ搭載)

【ガスコンロをお持ちの方にお伺いします】



Siセンサー搭載型バーナー

※Siセンサー

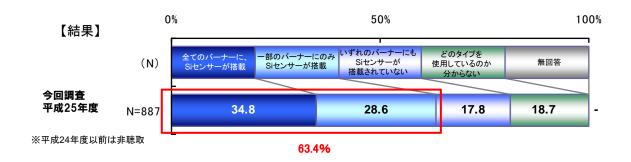
コンロの火を消し忘れた場合の自動消火機能や、油の温度を 自動で調整する機能など、ガスコンロの安全機能と便利機能 を充実させるために搭載するセンサー。

(参考:(一社)日本ガス協会ホームページ)

http://www.gas.or.jp/renew/-

Q5-1 あなたは、下記のどのタイプのガスコンロを使用していますか。(**1つだけ**)

- 1. 全てのバーナーに、Siセンサーが搭載されているガスコンロ
- 2. 一部のバーナーにのみSiセンサーが搭載されているガスコンロ
- 3. いずれのバーナーにもSiセンサーが搭載されていないガスコンロ
- 4. どのタイプのガスコンロを使用しているのか分からない



Siセンサー搭載ガスコンロ使用者は、約半数弱がそれを意識せず使用している。 また、Siセンサー非搭載ガスコンロ使用者の約1/4は搭載品の購入意向がある。

【Q5-1で「一部のバーナーにのみSiセンサーが搭載されているガスコンロ」とお答えの方にお伺いします】

Q5-2 あなたは、Siセンサーが搭載されている方のバーナーを意識して使用していますか。(1つだけ)

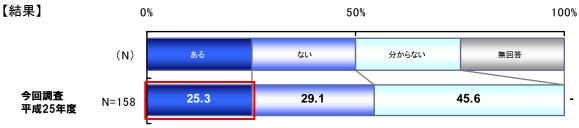


※平成24年度以前は非聴取

【Q5-1で「いずれのバーナーにもSiセンサーが搭載されていないガスコンロ」とお答えの方にお伺いします】

Q5-3 あなたは、Siセンサーが搭載されているガスコンロに買い替える意向がありますか。(1つだけ)



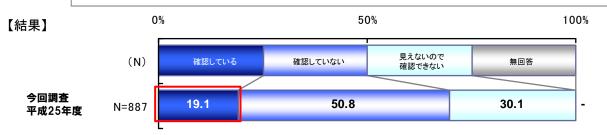


※平成24年度以前は非聴取

テーブルコンロ保有者で、接続部の劣化状況を「確認している」のは約2割

【テーブルコンロをお持ちの方にお伺いします】

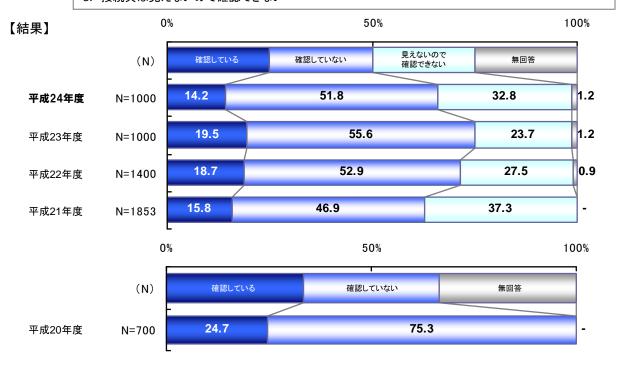
- Q6 あなたは、テーブルコンロの接続具(ゴム管など)の劣化状況(ひび割れ等)を確認しますか。(1つだけ)
 - 1. 確認している
 - 2. 確認していない
 - 3. 接続具は見えないので確認できない



参考:過去 同様設問調査結果

あなたはガスコンロの接続具(ゴム管など)の劣化状況(ひび割れ等)を確認しますか。(1つだけ)

- 1. 確認している
- 2. 確認していない
- 3. 接続具は見えないので確認できない



※平成20年度以前は、「ガス機器を使用する時、ガス栓と接続具(ゴム管など)の状況を確認しますか。」として聴取

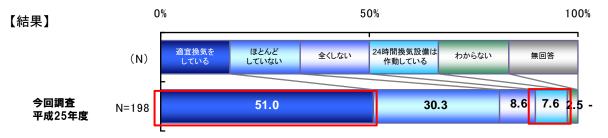
ガスストーブ、ガスファンヒーター使用時においては、 「24時間換気設備は作動している」を含めると、 「換気している」が増加傾向にある。

【ガスストーブ、ガスファンヒーターをお持ちの方にお伺いします】

- Q7 あなたはガスストーブ、ガスファンヒーターを使用する際に、換気をしていますか。(1つだけ)
 - 1. 適宜換気をしている
 - 2. ほとんどしていない
 - 3. 全くしない
 - 4. 特に換気していないが、24時間換気設備※は作動している※
 - 5. わからない

※24時間換気設備:シックハウス対策として2003年7月以降に着工した住宅に設置が 義務づけられている換気設備。※平成24年度と、選択肢一部変更



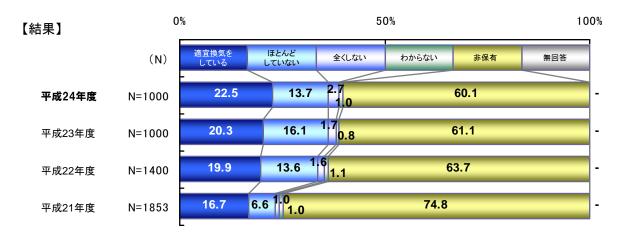


参考:過去 同様設問調査結果

【全員にお伺いします】

あなたは<u>ガス</u>ストーブ、<u>ガス</u>ファンヒーターを使用する際に、換気をしていますか。(1つだけ)

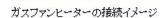
1. 適宜換気をしている ⇒Q9へ
 2. ほとんどしていない ⇒Q9へ
 3. 全くしない ⇒Q9へ
 4. わからない ⇒Q9へ
 5. ガスストーブ、ガスファンヒーターを持っていない ⇒Q10へ

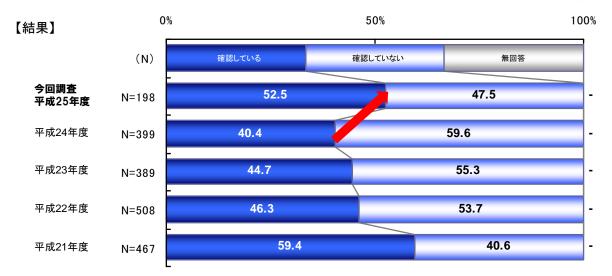


ガスストーブ、ガスファンヒーター使用時における、ガス栓と接続部の確認においては、「確認している」が増加している。

【ガスストーブ、ガスファンヒーターをお持ちの方にお伺いします】

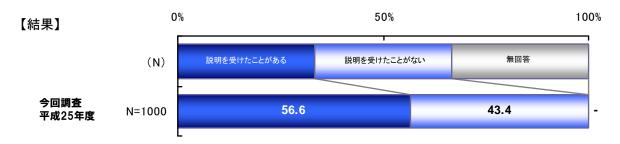
- Q8 あなたはガスストーブ、ガスファンヒーターを使用する際に、ガス栓と接続具(ガスストーブの場合はゴム管、 ガスファンヒーターの場合はガスコード)の接続状況を確認していますか。**(1つだけ)**
 - 1. 確認している
 - 2. 確認していない





開栓時や定期保安点検時に、ガス事業者から安全な使用に関する説明を 受けたことがある人は全体の56%。

- Q10-1 あなたは、ガス使用開始時(開栓時)や3年に1度の定期保安点検時などにガス事業者から説明されるガスの安全な使用に関する情報(換気の必要性やガス栓と接続具の状況等)について、説明を受けたことがありますか。 (1つだけ)
 - 1. 説明を受けたことがある
 - 2. 2. 説明を受けたことがない



※平成24年度以前は非聴取

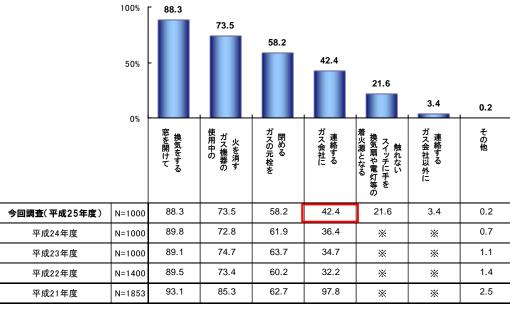
ガス臭いと感じた時に「ガス会社に連絡する」は増加傾向。 また、「着火源となる換気扇や電灯等のスイッチに手を触れない」 という知識は約2割しか有していない。

【全員にお伺いします】

- Q11-1 あなたは、自宅でもしガス臭いと感じた時、どのような対応をしますか。 次の中から、あてはまると思うものをお答えください。(**いくつでも**)
 - 1. ガスの元栓(ガスメーター近傍)を閉める ※
 - 2. 窓を開けて換気をする
 - 3. 使用中のガス機器の火を消す
 - 4. 着火源となる換気扇や電灯等のスイッチに手を触れない
- 5. ガス会社に連絡する
- 6. ガス会社以外に連絡する
- 7. その他 ()

【結果】

※平成24年度と、質問文、選択肢一部変更

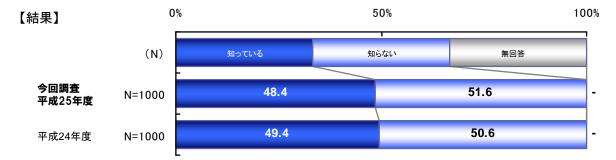


※は非聴取

地震時などにおける安全装置の復帰操作を、「知っている」のは約半数で ほぼ横ばい。また、復帰操作に関する情報源は「配布されたチラシ、パンフレット、 シール等」がトップ。

- Q14-1 地震時等の非常時に「ガスメーター」(=マイコンメーター)の安全装置が作動してガスが止まった場合、 あなたがガスメーターの復帰ボタンを操作して、ガス設備が安全な状態であれば、ガスが再度使えるようになることを ご存知ですか。(**1つだけ**)
 - 1. 知っている ※
 - 2. 知らない

※平成23年度は「今年3月の震災以降に知った」「以前から知っていた」に分けて聴取

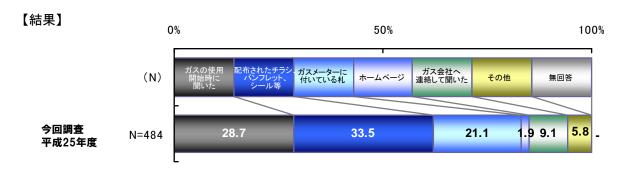


- Q14-2 あなたは、ガスメーターの復帰操作に関する内容はどのように知りましたか。(1つだけ)
 - 1. ガスの使用開始時(開栓時)に聞いた
 - 2. ガスの使用開始時(開栓時)や定期保安点検の際などに配布されたチラシ、パンフレット、シール等
 - 3. ガスメーターに付いている札

- 4. ホームページ
- 5. ガス会社へ連絡して聞いた

)

6. その他(



都市ガス警報器の設置状況はほぼ横ばい。

Q16-1 あなたはお宅に都市ガス警報器を設置していますか。(1つだけ)

- 1. 設置している
- 2. 設置していない
- 警報器は設置しているが、
 都市ガス警報器なのかわからない ※

住宅用火災・ガス・CO警報器

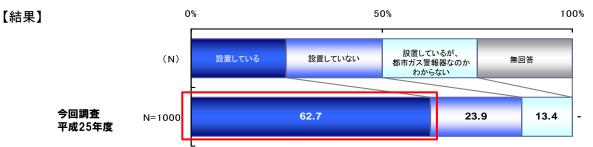




壁技

壁掛け式 天井設置式



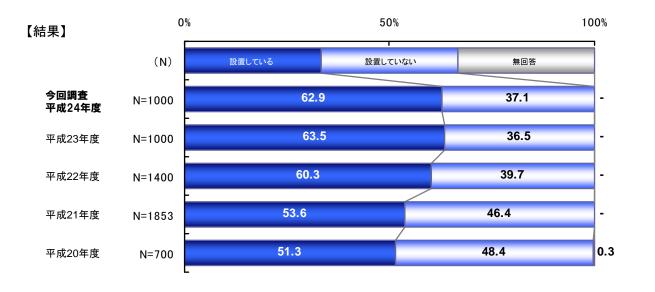


参考:過去 同様設問調査結果

あなたはお宅に都市ガス警報器を設置していますか。(1つだけ)

1. 設置している <u>→Q19-1 Q19-2へお進みください</u>

2. 設置していない <u>→Q19-3へお進みください</u>



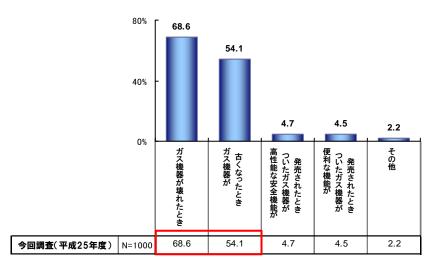
ガス機器の取替え検討は、「壊れたとき」次いで「古くなったとき」。 安全性や新機能での買い替えはほとんど検討されていない。

Q18 あなたは、どのようなときにガス機器の取替えを検討しますか。(Oはいくつでも)

- 1. ガス機器が古くなったとき
- 2. ガス機器が壊れたとき
- 3. 高性能な安全機能がついたガス機器が発売されたとき
- 4. 便利な機能がついたガス機器が発売されたとき
- 5. その他(

)

【結果】



※平成24年度以前は非聴取

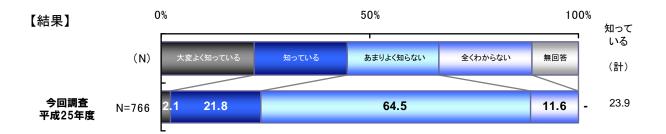
ガス機器の掃除・お手入れは所有者が行うべきと答えている人でも、 その約75%が掃除・お手入れ方法については知識が十分ではない状況。 さらに、掃除・お手入れ方法については、「パンフレット・チラシなどの紙」次いで 「インターネットのホームページ」で知りたいと回答している。

【Q25-1で「所有者(あなた自身)が行うべき」とお答えの方にお伺いします】

Q25-2-1 あなたは、ガス機器(ガスコンロ、ガスファンヒーター、ガス給湯器など)の正しい掃除・お手入れ等の方法を ご存知ですか。(**Oは1つだけ**)

 1. 大変よく知っている
 3. あまりよく知らない

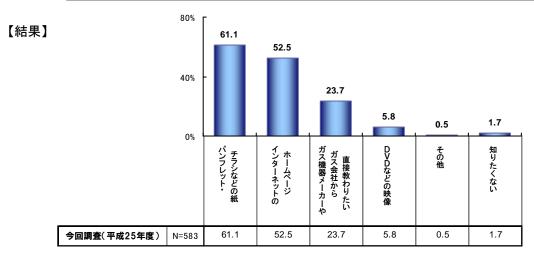
 2. 知っている
 4. 全くわからない



【Q27-1で「あまりよく知らない」、「全くわからない」」とお答えの方にお伺いします】

Q27-2 あなたは、正しい掃除・手入れ等の方法をどのような方法で知りたいですか。(いくつでも)

1. パンフレット・チラシなどの紙4. ガス機器メーカーやガス会社から直接教わりたい2. インターネットのホームページ5. その他(3. DVDなどの映像6. 知りたくない



平成25年度広報は、全体的に接触率が高い(昨年比)。 中でもホームページ、インターネットは若年を中心とした 男性の接触率が高い。

【全員にお伺いします】

Q27 今年度、国が行った広報のうち、実際に見たものをお選びください。(いくつでも)

1. ホームページ(経済産業省「ガスの安全見直し隊」)

2. 交通広告(中吊り広告・窓上広告・トレインチャンネル) ⇒Q30へお進みください

⇒Q30へお進みください

3. Yahoo!インターネット広告

⇒Q30へお進みください

4. 新聞広告(毎日新聞全国版12月11日)

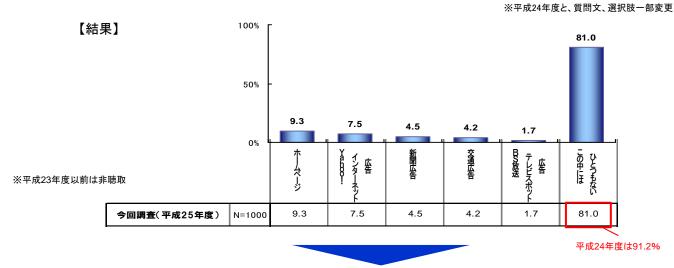
⇒Q30へお進みください

5. BS放送テレビスポット広告(BSイレブン)

⇒Q30へお進みください

6. この中にはひとつもない

a 4 .95 -



Q27 性年代別クロス集計

* ■は全体+10ポイント以上、■は+5ポイント以上、■は-10ポイント以下、■は-5ポイント以下

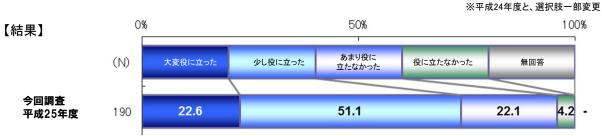
		n	全見直し隊」)(経済産業省「ガスの安・ホームページ)	トレインチャンネル) 窓上広告・ 交通広告・	インター ネット広告 Yahoo!	12月11日)(毎日新聞全国版新聞広告	広告(BSイレブン)BS放送テレビスポット	この中にはひとつもない
全体		1000	9.3	4.2	7.5	4.5	1.7	81.0
性年代	男性 20代	40	22.5	12.5	17.5	7.5	5.0	65.0
	男性 30代	40	20.0	7.5	7.5	7.5	5.0	77.5
	男性 40代	40	2.5	2.5	7.5	0.0	2.5	87.5
	男性 50代	40	17.5	7.5	12.5	0.0	0.0	70.0
	男性 60代	40	25.0	5.0	7.5	10.0	2.5	70.0
	女性 20代	160	3.8	6.3	8.1	4.4	0.6	84.4
	女性 30代	160	7.5	4.4	6.3	3.1	1.9	83.1
	女性 40代	160	10.0	2.5	5.6	3.1	0.6	83.8
	女性 50代	160	8.1	1.3	7.5	3.8	1.9	82.5
	女性 60代	160	6.9	3.1	6.3	7.5	1.9	80.0

広報が役に立ったと答えている人は7割を超える。 特に男女とも50~60代は役に立ったと回答している率が高い。

【Q27で1·2·3·4·5「広報を見た」とお答えの方にお伺いします】

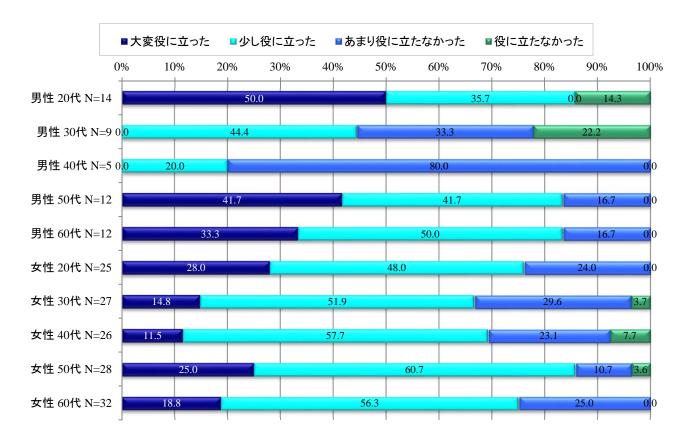
Q30 広報の内容をご覧になって、役に立ちましたか。 (1つだけ)





※平成23年度以前は非聴取

Q30 性年代別クロス集計



総括

一般需要家調査について

- ①換気をしない状態におけるガス機器の使用が、一酸化炭素中毒につながる可能性があることの認知は高く(83.6%)、また、その特徴である「死に至る」可能性や「無色・無臭」という特徴も認知されている。
- ②「小型湯沸器・ガスコンロ等」使用時の換気率に比べて、「小型湯沸器」単体使用時の換気率は低い。 「ガスコンロ等」の使用時の換気は調理などの「におい」を 防ぐ目的が主で、不完全燃焼防止に対する意識はあまり 働いていない傾向。
- ③テーブルコンロとカスストーブ、ガスファンヒーターの接続部 に関する意識は上昇傾向にある。
- ④ガス機器の掃除・お手入れに関する意識は高いものの、 その方法については知識がまだ十分であるとは言えない。

2. 業務用需要家調査

業務用需要家調査:属性

)

【調査対象者収集方法及び調査手法の変更について】

回収率向上等のため、対象者収集方法を機縁法から調査会社のモニターに、調査手法を郵送調査から インターネット調査に変更した。

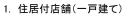
上記の影響として、今年度調査の対象者属性が以下のように変化している。

- ・店舗形態は、「住居付店舗(一戸建て)」が減少し、「ビル等のテナント」が増加
- ・業種は、「料理・飲食店その他」が半数に増加

)

・立場は、「オーナー(持ち主)」が減少し、「主にガスを使用する社員」が増加

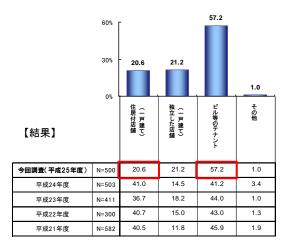
F3 あなたのお店の建築形態をお答えください。(Oは1つだけ)



- 2. 独立した店舗(一戸建て)
- 3. ビル等のテナント
- 4. その他 (

F7 あなたはこのお店でどのようなお立場ですか。(Oは1つだけ)

- 1. オーナー(持ち主)
- 2. 店長、マネージャー等の店舗責任者
- 3. 主にガスを使用する一般の社員(社員) ※
- 4. 主にガスを使用するアルバイト・パート
- 5. その他 (



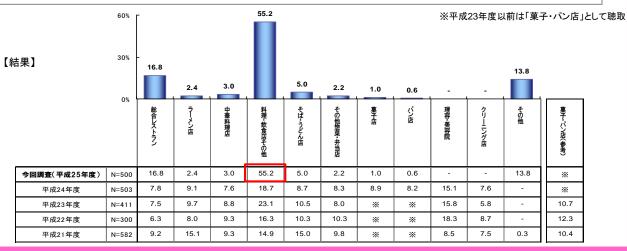


-※平成24年度と、質問文、選択肢一部変更

※平成24年度以前は「あなたはこのお店の持ち主(オーナー)ですか。」として聴取

F5 あなたのお店は次の業種のどれにあたりますか。(Oは1つだけ)

- 総合レストラン
 ラーメン店
- 4. 料理・飲食店その他
- 5. そば・うどん店
- 3. 中華料理店 6. その他惣菜・弁当店
- 7. 菓子店 ※
- 8. パン店 ※ 9. 理容・美容院
- 710. クリーニング店
- 11. その他(



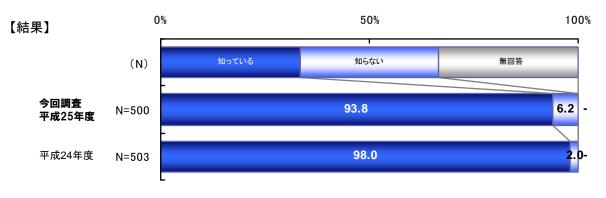
換気をしない状態におけるガス機器の使用が、CO(一酸化炭素)中毒に つながる可能性を認識しているのは9割強。

また、8割を超える人が、CO中毒の危険性を意識しながら厨房等での業務を行っており、一般よりも高い意識を持っていることがうかがえる。

【全員にお伺いします】

- Q1 あなたは、換気をしない状態で室内(厨房内)のガス機器を使用すると、燃焼用の酸素が不足して、 ガス機器が不完全な燃焼となり、CO(一酸化炭素)中毒になる恐れがあることを知っていますか。 あてはまるものを1つだけお選びください。 (**Oは1つだけ**)
 - 1. 知っている
 - 2. 知らない

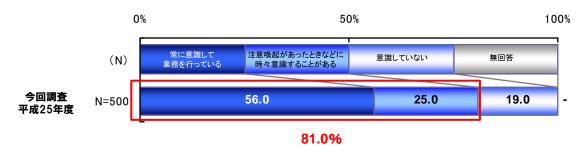
※平成24年度と、質問文一部変更



※平成23年度以前は非聴取

- Q2 厨房等での業務中、CO中毒の危険性を意識しながら業務を行っていますか。(Oは1つだけ)
 - 1. 常に意識して業務を行っている
 - 2. 注意喚起があったときなどに時々意識することがある
 - 3. 意識していない

【結果】



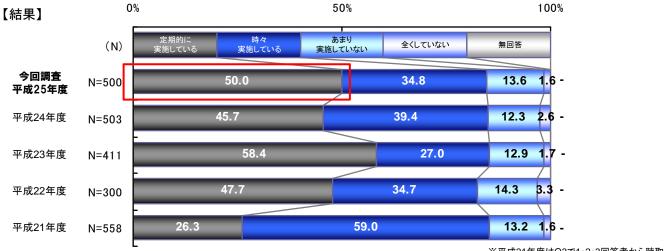
店舗における換気設備の清掃や点検は、「定期的に実施している」が今回の調査では5割台に上昇している。

【全員にお伺いします】

Q5 あなたのお店では、換気設備の清掃や点検(給気口・排気口の清掃や給気・排気状況の点検など)を実施していますか。 (**Oは1つだけ**)

定期的に実施している ※ ⇒Q5-1へお進みください
 時々実施している ⇒Q5-1へお進みください
 あまり実施していない ⇒Q5-2へお進みください
 全くしていない ⇒Q5-2へお進みください

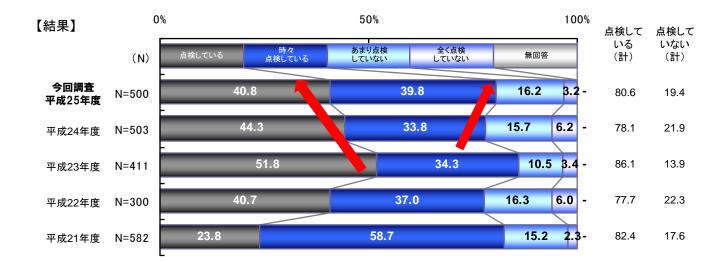
※平成21年度は「常に実施している」で聴取



※平成21年度はQ3で1・2・3回答者から聴取

店舗におけるガス機器の点検は、「点検している」の減少が続いているが、「時々点検している」はわずかに増加している。

- Q6 あなたのお店では、厨房など業務で使用しているガス機器を定期的に点検していますか。あてはまるものを1つだけ お答えください。(**Oは1つだけ**)
 - 1. 点検している
 - 2. 時々点検している
 - 3. あまり点検していない
 - 4. 全く点検していない



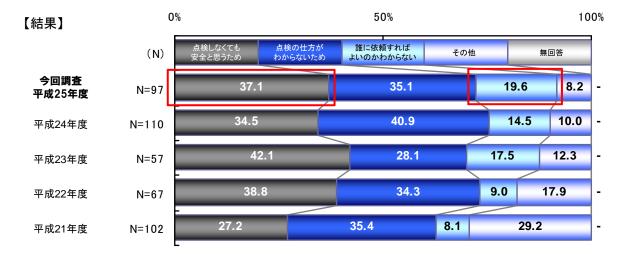
およそ2割の「点検していない」理由は、「点検しなくても安全と思う」が再びトップになっている。

また、「誰に依頼すればよいのかわからない」も増加している。

【Q6で3・4「点検していない」とお答えの方にお伺いします】

Q6-2 ガス機器の点検をしていない理由は何ですか。あてはまるものを1つだけお答えください。(**Oは1つだけ**)

点検しなくても安全と思うため
 点検の仕方がわからないため
 点検を誰に依頼すればよいのか、わからないため
 その他 ()



都市ガス警報器の設置状況は上昇し、74%に。ここ5年の調査の中で最も高いスコアとなっている。



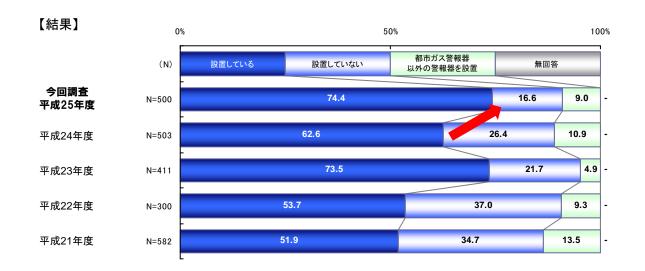


【全員にお伺いします】

- Q7 あなたのお店には都市ガス警報器を設置していますか。(**〇は1つだけ**)
- 壁掛け式

天井設置式

- 1. 設置している
- 2. 設置していない
- 3. 都市ガス警報器以外の警報器を設置している



都市ガス警報器の設置状況は上昇しているものの、 その「機能はよく知らない」というスコアも増加している。 設置だけに終わらず、機能理解を促進させる必要性があるといえる。

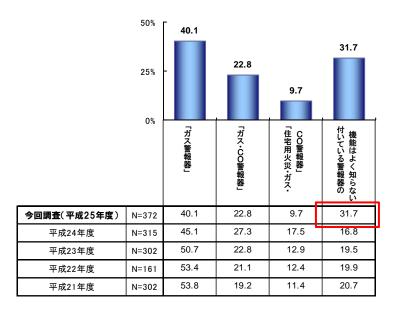
【Q7で「1. 設置している」とお答えの方にお伺いします】

Q7-1 あなたはお店では都市ガス警報器を設置しているとのことですが、設置されている警報器は、 どの機能が付いたタイプですか。 次の中からお答えください。(**〇はいくつでも**)

- 1.「ガス漏れ警報」の機能がついているタイプ(名称:「ガス警報器」) ※
- 2. 「ガス漏れ警報」と「CO警報(機器の不完全燃焼等で発生する一酸化炭素を検知し警報)」の機能がついている複合型のタイプ(名称:「ガス・CO警報器」) ※
- 3. 「ガス漏れ警報」と「CO警報(機器の不完全燃焼等で発生する一酸化炭素を検知し警報)」と「火災警報」の機能がついている複合型のタイプ(名称:「住宅用火災・ガス・CO警報器」) ※
- 4. 付いている警報器の機能はよく知らない

※平成24年度と、質問文、選択肢一部変更





平成25年度広報は、一般向け調査に比べて業務用はスコアが落ちる。 ただし、業務用内の昨年度比では、認知全体のスコアは上がっている。

【全員にお伺いします】

- Q9 今年度、国が行った広報のうち、実際に見たものをお選びください。(**Oはいくつでも**) ※別紙の広告画像一覧をご覧になりながらお答えください。
 - 1. ホームページ(経済産業省「ガスの安全見直し隊」)
 - 2. 交通広告(中吊り広告・窓上広告・トレインチャンネル) **⇒Q10へお進みください**

今回調査(平成25年度)

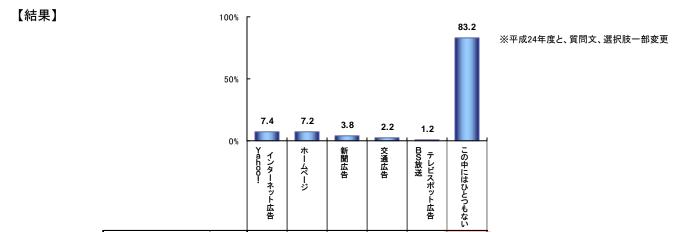
N=500

- 3. Yahoo!インターネット広告
- 4. 新聞広告(毎日新聞全国版12月11日)
- 5. BS放送テレビスポット広告(BSイレブン)
- 6. この中にはひとつもない

⇒Q10へお進みください ⇒Q10へお進みください ⇒Q10へお進みください ⇒Q10へお進みください ⇒Q10へお進みください



※平成23年度以前は非聴取



3.8

2.2

1.2

平成24年度は86.7%

83.2

Q9 職位別クロス集計 * ■は全体+10ポイント以上、■は+5ポイント以上、■は-10ポイント以下、■は-5ポイント以下 * 赤字はベースがn=29以下のため参考値

	r	安全見直し隊」)(経済産業省「ガスの・ホームページ	カチャンネル)告・窓上広告・トレイ交通広告(中吊り広	インターネット広告	国版12月11日)新聞広告(毎日新聞全	(BSイレブン) スポット広告 BS放送テレビ	ひとつもないこの中には
全体	500	7.2	2.2	7.4	3.8	1.2	83.2
オーナー(持ち主)	199	8.0	2.0	6.5	4.0	1.0	81.9
店長、マネージャー等の店舗責任者	125	6.4	3.2	10.4	4.8	0.8	83.2
主にガスを使用する一般の社員(社員)	106	5.7	0.9	7.5	3.8	1.9	83.0
主にガスを使用するアルバイト・パート	18	5.6	5.6	11.1	0.0	0.0	83.3
その他()	52	9.6	1.9	1.9	1.9	1.9	88.5

広報が「役に立った」計は85%で、昨年度より上昇している。

【Q9で1·2·3·4·5「広報を見た」とお答えの方にお伺いします】

Q10 広報の内容をご覧になって、役に立ちましたか。(Oは1つだけ)

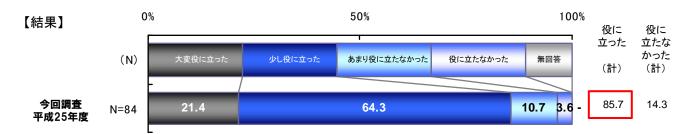
1. 大変役に立った ※

3. あまり役に立たなかった

2. 少し役に立った ※

4. 役に立たなかった

※平成24年度と、選択肢一部変更



※平成23年度以前は非聴取

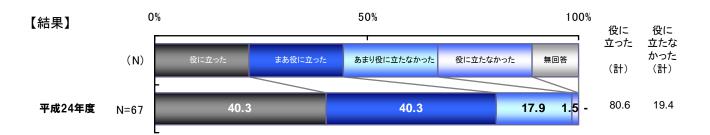
参考:過去 同様設問調査結果

「広報を見たり聞いたりした」とお答えの方にお伺いします】

広報の内容をご覧になって、役に立ちましたか。(Oは1つだけ)

- 1. 役に立った
- 2. まあ役に立った

- 3. あまり役に立たなかった
- 4. 役に立たなかった



※平成23年度以前は非聴取

業務用需要家調査について

- ①換気をしないガス機器の使用が、一酸化炭素中毒につながる可能性の認知は9割強。
 - 一般需要家に比べて一酸化炭素中毒への知識は高い。
- ② 店舗における換気設備、ガス機器の点検は、実施傾向がわずかながら上昇傾向にある。
- ③ガス機器を点検していない理由は、「安全だと思う」に加えて、ガス機器メーカーかガス事業者なのか「誰に依頼すればよいのかわからない」が増加傾向にある。
- ④都市ガス警報器の設置状況は74%にまで上昇。 しかしながら、その機能についての理解はまだ不十分と 言える。

平成25年度広報のポイント

- ①コンセプトは「わかりやすく、継続での広報を実施」。
- ②キーワードを「ガスの安全あなたと一緒に見直し隊!」とし、需要家への自分事化とした。
- ③タレント「麻尋えりかさん」を起用し、更に親しみの感じるものとした。
- ④実施メディアの柱は「交通広告」、中吊りポスター、窓上ポスターを実施し、首都圏JRでは、 「トレインチャンネル」を実施。
- ⑤インターネットはYahoo!メニューにて展開。主に高齢者に向けたバナー広告を実施。
- ⑥追加メディアとして、新聞は毎日新聞全七段広告を実施し、BS11にテレビスポット広告を 初めて実施した。
- ⑦DVDは次世代層(中学生・小学生)に正しくガスを利用してもらう構成にて制作。ガス事業者の 出前授業でも使用できるものとした。
- ⑧パンフレットは5種類をリニューアル。ガス事業者が国の広報として利用しやすい内容にて構成した。

課題

次年度以降の広報について

- ・引き続き、「換気啓蒙」「ガス警報器の取り付け」をメインに、継続した広報が必要。
- ・「適切な接続具」「使用していないガス栓の取り扱い」「清掃・手入れ」 「古い機器は交換」を合わせ、計【6つのポイント】は充分に吟味された 安全点検項目。これも継続するべきである。
- 一般家庭での換気実施の目的で、「部屋のにおいがこもるため」と答えた方が 少なくない、酸素不足により体調変化もきたすことも理解促進させるべきである。
- ・業務用需要家の中でも、経営者層、一般社員層、アルバイト層における、 安全点検の実施度合、及び理解度合等が大きく異なる。 一般社員、アルバイト層に周知理解させることが必要である。
- 通常10月に集中広報を行ってるが、本年度は12月に実施した。12月に新聞広告を掲載したところ、大掃除を行いつつ、ガス機器の清掃を行うきっかけとなった。
- ・ガス機器の手入れ・清掃法がわからない需要家に向けた情報提供が必要。